



日本酒で乾杯推進会議レポート

第10回総会・フォーラム&懇親パーティ



懇親パーティの冒頭、100人委員のヨーゼフ・クライナー博士の発声で、関係者そろって「日本酒で乾杯！」

日本文化のルネッサンス運動、追い風を受けて10年目に。

〈日本文化のルネッサンス〉を旗印に運動を繰り広げる「日本酒で乾杯推進会議」の第10回総会とフォーラム&懇親パーティが、9月30日の午後、東京元赤坂の明治記念館で開催されました。会には、推進会議の一般会員や100人委員会（各界著名人の中核組織）のメンバーらおよそ500人が参加。全国各地であいつぐ乾杯条例制定の動きなど、10年という節目を迎えて追い風に乗る運動のさらなる躍進へ、改めて結束を確認しました。



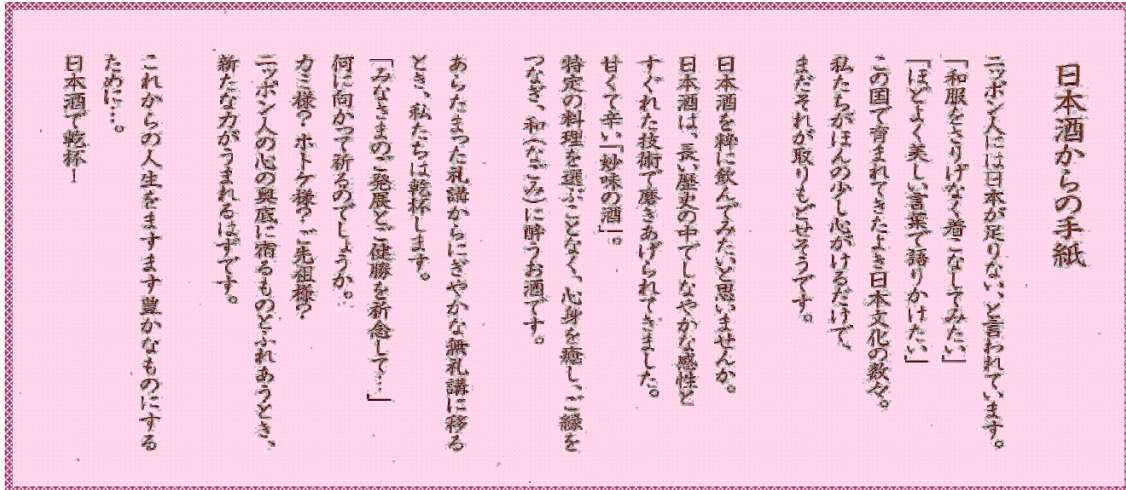
「乾杯」をめぐる活発なやり取りが行われたパネルディスカッション



落語家・古今亭菊千代師匠が酒にちなむ話を熱演



高まるうねり、各地に広がる「乾杯条例」制定の動き



日本酒からの手紙

「日本人には日本が足りない」と言われています。
 「和服をさりげなく着こなしてみたい」
 「ほどよく美しい言葉で語りかけたい」
 この国で育まれてきたよき日本文化の教を。
 私たちがほんの少し心掛けるだけで、
 またそれが取りもどせようです。

日本酒を神に飲んでもいいと思いませんか。
 日本酒は、長い歴史の中でしなやかな感性と
 すくれた技術で磨きあげられました。
 甘くて辛く「妙味の酒」。

特定の料理を運ぶことなく、心身を癒し、「縁を
 つなぎ、和(なごみ)に酔うお酒です。

あらたまった礼儀からにぎやかな無礼講に移る
 とき、私たちは乾杯します。

「みなさまの『発展と』健康を祈念して...」
 何に向かて祈るのでしょうか...

カミ様? ホトケ様? 『先祖様?』

「日本人の心の奥底に宿るものどかれあうとき、
 新たな力がうまれるはずですよ。」

これからの人生をますます豊かなものにする
 ために...。

日本酒で乾杯!

● 推進会議の会員数は3万4千人を突破

日本酒で乾杯運動は、「乾杯」という行為を通じて、日本文化そして日本酒への誇りを取り戻そうという、酒造業界一丸のカルチャー・ムーブメント。平成16年10月、業界関係者すべての思いを込めた「日本酒からの手紙」(上の囲み)を掲げてスタートして以来丸9年、運動のうねりは、ますますその大きさを増しつつあります。



運動の中核である「日本酒で乾杯推進会議」の会員数は3万4千人を突破し、各界著名人による「100人委員会」も強力な支援活動を展開中。そして何より、昨年暮れから俄かに高まり始めた「日本酒で乾杯条例」制定の動き(下の表)。いま、全国各地の様々な会合やパーティの場で「日本酒で乾杯!」の声は急速な広がりを見せています。

「総会・フォーラム&懇親パーティ」は、運動の新たな一年のスタートに向けて関係者全員の結束を固めるため、毎年「日本酒の日」(10月1日)に合わせて開催されているもので、今回も『日本のかたち、日本のこころ』をメインテーマに、落語鑑賞やパネルディスカッション、パーティなど盛りだくさんなプログラムを通じて、和やかな中にも熱気あふれる懇親風景が繰り広げられました。



番号	地方公共団体	条例名	成立年月日
1	京都府京都市	京都市清酒の普及の促進に関する条例	平成24年12月26日
2	佐賀県鹿島市	鹿島市日本酒で乾杯を推進する条例	平成25年3月25日
3	兵庫県加東市	加東市日本酒による乾杯を推進する条例	平成25年6月3日
4	京都府与謝野町	与謝野町地酒の普及の促進に関する条例	平成25年6月20日
5	兵庫県三木市	三木市日本酒による乾杯を推進する条例	平成25年6月21日
6	石川県白山市	白山市白山菊酒等の普及の促進に関する条例	平成25年6月24日
7	佐賀県	佐賀県日本酒で乾杯を推進する条例	平成25年6月26日
8	広島県東広島市	東広島市日本酒の普及の促進に関する条例	平成25年6月7日
9	福島県南会津町	南会津町乾杯条例	平成25年6月21日
10	兵庫県西宮市	西宮市清酒の普及の促進に関する条例	平成25年7月5日
11	兵庫県明石市	明石市の伝統産業である清酒による乾杯の普及の促進に関する条例	平成25年9月12日
12	千葉県神崎町	日本酒で乾杯を推進する条例	平成25年9月19日
13	兵庫県伊丹市	清酒発祥の地伊丹の清酒の普及の促進に関する条例	平成25年9月26日

※ 上記は平成25年9月30日現在の状況。このほか、本格焼酎による乾杯条例(4自治体)や特産陶器を推進する乾杯条例(3自治体)なども制定されています。



第10回総会の模様

● 乾杯条例制定のさきがけ・京都市に感謝状贈呈

総会（16:00～16:30）の冒頭、100人委員の一人で日本酒スタイリストの手島麻記子さんが高らかに開会宣言。100人委員会の石毛直道代表（国立民族学博物館名誉教授）の挨拶、日本酒で乾杯推進会議運営委員会の西村運営委員長の活動報告に続いて、恒例の表彰式（運動に功績があった地域の個人・団体への表彰）行われ、全国に先駆けて乾杯条例を実現した京都市に石毛代表が感謝状と記念品を贈呈し、その功績を称えました。

「日本酒で乾杯推進会議」総会開会宣言

私たちは、日本を愛します。
日本文化を愛します。そして、日本酒を愛します。
「日本に乾杯」。そのはじめに、「日本酒で乾杯」。
私たちは、日本文化のルネッサンスをめざして、

ここに「第10回日本酒で乾杯推進会議」総会の開会を宣言いたします。



◀ 手島麻記子さんの「開会宣言」に、出席者全員が唱和して、「日本文化ルネッサンス」の実現へ、決意を新たにしました。

▶ 「日本酒で乾杯の条例化が進み、パーティの風景として定着してきた。いつの日か、宮中晩餐会でも日本酒で乾杯が行われるのを心待ちにしている」（石毛代表の挨拶から）



▼ 京都市を代表して、石毛代表から団体表彰を受ける京都市の今井健氏（写真右）。



▲ 西村運営委員長（左上の写真）は、「13 区市町で乾杯条例が制定されているが、今後さらに増える見通しである」と述べたほか、推進会議の会員数について「現在 3 万 4200 人。5 万人達成へ向けてさらに頑張る」と決意表明。



また、第 3 回「乾杯フォトコンテスト」の結果について、「今回は応募 106 点の中から、愛知県に加藤謹一さんの作品（右の写真）が大賞に決定したことを報告しました。」



◀ 第 3 回「乾杯フォトコンテスト」で大賞を受賞した、加藤謹一さんの作品。微笑ましいご両親の 2 ショット。



フォーラムの様相



「夢の酒」は、若旦那の夢を巡ってやきもち焼きの女房と母親が繰り広げる滑稽話。下げの中でお燗と冷やが重要なキーワードになっている。

● 古今亭菊千代師匠の江戸落語を堪能。4 氏のパネル討論も

「日本のかたち、日本のこころ」をテーマに開かれたフォーラムでは（16:35～18:20）、まず、話の道具立てとしてお酒が大きなポイントになる江戸落語「夢の酒」を、日本初の女性真打・古今亭菊千代師匠が熱演したのに続き、民俗学者の神崎宣武氏と3人のパネラーが『「日本酒で乾杯」のこれまでとこれから』と題してパネル討論。日本文化の継承、日本酒の世界などをめぐって活発なやり取りが交わされました。



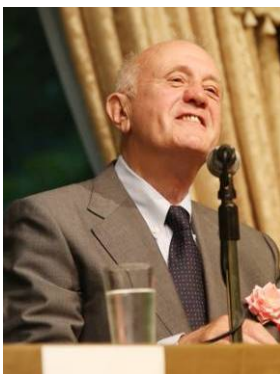
◀ 神崎宣武氏(民俗学者、コーディネーター)

「次世代に日本文化を伝えていくのは我々の使命。こんなに素晴らしい日本文化を捨ててしまうのは余りにもったいない。その思いを今後の運動につなげていきたい」



楽しくて、ためになるひと時
◀ 野田聖子氏(日本酒を愛する女性議員の会会長)

「世界中の人々と日本酒で乾杯できる世の中にしたいというのが私の壮大な夢。現在4つの国際空港で実施している日本の酒キャンペーンも、どしどし応援していきたい」



◀ クライナー・ヨーゼフ氏(ボン大学名誉教授)

「日本の伝統工芸のデザインはとても優れている。陶磁の酒器など、そういうデザインの面から若者の興味を引き、日本酒に接してもらうことも新しい道だと思う」



◀ 山邑太左衛門氏(日本酒で乾杯推進会議運営委員)

「最近の若者は、会社の歓送迎会などでもあまり酒を飲まない。そんな若者に、日本の様々な文化と一緒に日本酒をアピールしていきたい」





懇親パーティの様



100人委員による鏡開きで、いよいよ懇親パーティの幕開け

● 節目にふさわしい華やぎと熱気

一日の掉尾を飾る懇親パーティは、午後6時半からのスタート（～20:30）。はじめに100人委員会のメンバーが鏡開きを行なった後、クライナー・ヨーゼフ氏のリードで参加者全員が「日本酒で乾杯！」（1頁の写真）。会場には、約70銘柄の日本酒と全国各地の素材を使った明治記念館の特製メニューがズラリと並び、10年の節目にふさわしい華やぎと熱気に包まれていました。



▲ 会場中央に設けられた日本酒サービステーブル



和らぎ水はもう常識



最後は、日本酒造組合中央会・篠原会長の発声で「右肩上がりの乾杯三唱」





老いも若きも、男性も女性も、100人委員も一般参加者も、日本酒で乾杯すれば、みんなともだちです。



**日本酒で乾杯推進会議
第10回
総会・フォーラム&懇親パーティ
乾杯の風景**

明治記念館
2013/9/30



みそ健康づくり委員会



全国かまぼこ連合会



全日本漬物協同組合連合会

会場の一面には今年も協賛団体が出展して、日本酒にぴったりのおつまみをサービス。初出展の秋田県は来年、「日本酒で乾杯推進会議地方大会」の開催地に決定しています。ご存知なまはげも特別参加で日本酒王国

秋田を強烈にアピール。



全国珍味商工業協同組合連合会



秋田県